

# 図書館だより

No. 1

2021年  
4月9日発行

尼崎双星高等学校図書館

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。  
2年生・3年生も、新たな気持ちで新学期を迎えたことと思います。

## 図書館 開館！ 貸出 開始します！

★開館時間：8：40～16：50  
★貸出：一人3冊まで 2週間

図書委員  
募集中！



★読書は冒険！★読むぞ！双星高校生。

\*新入生・在校生・教職員の貸出コードは図書館で管理していますので、  
★学年・クラス・名前を告げれば、いつでも、すぐに貸出できます。

### ★双星高校の図書館は充実しています！ 蔵書数4万3千冊！

小説、ノンフィクション、歴史書、社会科学、自然科学、図鑑、写真集、絵本、進路の本、  
各教科、電気・機械・商業の専門書など、様々な分野の本がたくさんあります。

- ◆雑誌コーナー（アニメ、ファッション、音楽、映画、スポーツ、パソコン、料理などの雑誌20種）
  - ◆漫画コーナー（『ちはやふる』『ワンピース』『スラムダンク』『名探偵コナン』『はたらく細胞』などなど、豊富な種類）
  - ◆蔵書検索コーナー（図書館にある蔵書の検索ができます。みなさんが読みたい本があるか、検索してみてください。）
  - ◆パソコンコーナー（インターネット利用が可能なパソコンが2台あります。すぐに利用できます。DVDも視聴できます。）
- ♥♥♥まずは図書館に来てください！ どんな本があるのか、興味のある本を探してみよう！♥♥♥

## ★★★★★新着図書紹介★★★★★

<p>『クララとお日さま』 早川書房 カズオ・イングロ/著</p>  <p>人工知能を搭載したロボットのクララは、病弱の少女ジョジーと出会い、やがて二人は友情を育んでゆく。生きることの意味を問う感動作。愛とは、知性とは、家族とは？</p>	<p>『お探し物は図書室まで』 青山 美智子/著 ポプラ社</p>  <p>お探し物は、本ですか？ 仕事ですか？人生ですか？悩める人々が立ち寄った小さな図書室。不愛想だけど聞き上手な司書さんがおすすめ本と可愛い付録で人生を後押しします。</p>	<p>『この本を盗む者は』 深緑 野分/著 KADOKAWA</p>  <p>書物の蒐集家を曾祖父に持つ高校生の深冬。父は巨大な書庫「御倉館」の管理人を務めるが、深冬は本が好きではない。ある日、御倉館から蔵書が盗まれ、深冬は残されたメッセージを目にする。魔術的現実主義の旗に追われる”本の呪いが発動し、街は物語の世界に姿を変えていく。</p>
<p>『跡を消す』 特殊清掃デッドモニング 前川 ほまれ/著</p>  <p>俺が飛び込んだのは、わけありの死に方をした人達の部屋を片付ける会社だった。特殊清掃という業界。死の痕跡がありありと残された現場。生きることの意味を真摯なまなざしで描き出す感動作！</p>	<p>『自転しながら公転する』 山本 文緒/著 新潮社</p>  <p>東京で働いていた32歳の都は、親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始めるが、恋愛、家族の世話、そのうえ仕事、そんなの無理！誰もが心揺さぶられる。答えのない問いを生きる人々をやさしく包む物語。</p>	<p>『八月の銀の雪』 伊与原 新/著 新潮社</p>  <p>就活連敗中の理系大学生、子育てに自信が持てないシングルマザー、原発の下請け会社を辞めた男、科学の揺るぎない真実が、人知れず傷ついた心に希望の灯りをともす、切なくて温かい全5編の物語。</p>
<p>『ニキ』 ポプラ社 夏木 志朋/著</p>  <p>高校生・広一は黙っていても、口を開いても、つねに人から馬鹿にされてしまう。そんな広一が唯一関心を寄せたのが美術教師の二木だった。一生徒と教師の悪戦苦闘をスリリングに描き、読後に爽やかな感動を呼ぶ青春小説。</p>	<p>『雲を紡ぐ』 伊吹 有喜/著 文藝春秋</p>  <p>壊れかけた家族は、もう一度、ひとつになれるのか？ 羊毛を手仕事で染め、紡ぎ、織りあげられた「時を越える布」ホームスパンをめぐる親子三代の心の糸の物語。</p>	<p>『オムニバス』 誉田 哲也/著 光文社</p>  <p>刑事と人殺しに休日はない。激務の中、事件に挑み続ける彼女の集中力と行動が、被疑者を特定し、読者の感動を呼ぶ。だから。立ち止まるな、姫川玲子。</p>

『いつも空に星が出ていた』

佐藤 多佳子/著

講談社

物静かな高校の先生、予備校に通う女子高生、家業の電気店を継いだ若者、少年野球のピッチャー、洋食店のシェフ 一見つながりのない人々を結んでいる、強くてまっすぐな気持ち！心から「好き」でいる、すべての人へ贈る爽快な感動！

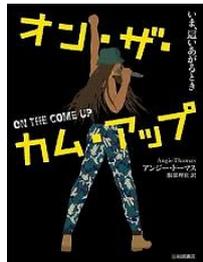


『オン・ザ・カム・アップ』

いま、這いあがる時

アゾー・ト・マシ/著

通っている高校の警備員から言われのない嫌疑と暴力を受けたプリ。rapperとしての成功を夢見る彼女は、ど底の暮らしから這い上がる。あたしのラップで世界を変えてやるんだ。



『兄の名は、ジュシカ』

あすなろ書房

ジョン・ボイン/著

自慢の兄が実は姉さんだった？長男の告白を受けて窮地に陥る家族。それぞれが最後に下した決断とは！誰もが成長過程で通る「自分と向き合う」「家族と向き合う」ことが弟視点で描かれた、家族を身近に感じられる物語。



『龍神の子どもたち』

乾 ルカ/著

都市開発の余波で、中学生たちは、地元派とユウリ派とに分かれてしまったが、夏休み、林間学校に参加した。その晩、突然の土砂崩れが宿舎を飲み込み大人は全員死亡してしまう。極限状態のなかで結んだ友情。そして学んだ“自分で考えて生きる”という力。次世代に語り継ぎたい、思いやりの物語。



『十字架のカルテ』

知念実希人/著

小学館

心の闇を暴くミステリーの新境地！罪を犯した本当の理由とは一精神鑑定医・影山司が繰り広げる、究極の頭脳戦。



『タイタン』

野崎まど/著

講談社

至高のAI『タイタン』により、社会が平和に保たれた未来。人類は“仕事”から解放され、自由を謳歌していた。人間のとって仕事とは？働く意味とは何だろうか？



『星になりたかった君と』

遊歩 新夢/著

実業之日本社

少女は星になりたかった。そして僕は、彼女の星を探した。祖父の遺志を継ぎ、私設天文台の守り番となった大学生の鷲上秀星は、星祭りの夜、高校生の琴坂那沙と出会う。永遠を誓う青年と少女の、号泣必至のラブストーリー！

第1回令和小説大賞



『ふたり、この夜と息をして』

北原 一/著

ポプラ社

男子高校生の夕作まことは、顔にある痣を化粧で隠して生活している。ある日、公園でクラスメイトの榎野がタバコを吸っているところを目撃する。互いに“秘密”を抱えた二人は徐々に距離を縮めていくが—



『探偵は友人ではない』

川澄 浩平/著

東京創元社

わたしの幼馴染み・歩はなぜか中学校に通っておらず、頭は切れるが、素直じゃない。でも、奇妙な謎に遭遇したわたしがお菓子を持って訪ねると、問題解決してくれた。彼は変人だけど、頼りになる名探偵だ。



神戸と東北 — 被災地をつなぐ

震災三部作

- 『そして星の輝く夜がくる』
- 『海は見えるか』
- 『それでも陽は昇る』

阪神・淡路大震災で被災し、妻子を亡くした教師が、東日本大震災で被災した小学校に応援教師として赴任する。子どもたちの触れ合いを通して被災地が抱える問題と向かい合う。



祥伝社

『きみは「3・11」をしていますか』

東日本大震災から10年後の物語

君と、君たちと、亡くなったたくさんの「命」が永遠に幸せでありますように。豊富なカラー記事とデータで「3.11」がわかります。



スマホで見る『阪神淡路大震災』



1995.1.17 災害映像がつむぐ未来への教訓 QRコードで見る 映像357 震度7の震災アーカイブ

『東日本大震災 3.11 生と死のはざままで』

金田諦應/著 春秋社

『私の夢まで、会いに来てくれた/3・11亡き人とのそれから』

震災記録プロジェクト

『地球の声に耳をすませて〜地震の正体を知り、命を守る』

大木聖子/著

『京大人気講義 生き抜くための地震学』

鎌田浩毅/著 ちくま新書

『首都直下地震と南海トラフ』

鎌田浩毅/著 MdN新書

『恋に漕がれたブルー』

宇山佳佑/著 集英社

『君の心に読ませて』

浜口倫太郎/著 実業之日本社

『元彼の遺言状』

新川帆立/著 「このミステリーがすごい！」大賞 受賞！

『めんどくさがりなきみのための文章教室』

はやみねかおる/著

『母影 — おもかげ』

尾崎世界観/著 新潮社

『おいしくて 泣くとき』

森沢明夫/著 KADOKAWA



『ビジュアル 進化の記録』

ダーウィンたちの見た世界 生命の進化、その神秘を探究する旅へ200枚以上の美しい写真とともに、生物学の根幹をなす進化論を学ぶ。

『365日 日本一周絶景の旅』

数十秒しか見られない夕日の絶景、一年に一度行われる1400年の伝統ある奇祭など。全国365カ所の奇跡の瞬間。



写真絵本『うりぼうと母さん』

写真・文 矢野誠人 神戸・六甲山の野生イノシシ母子の穏やかな一日が絵本になった。 第1回 日本写真絵本大賞金賞受賞作品

